



2021年5月24日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース 45号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. コートジボワール、ココア農園を警察が突然襲撃し、子供の人身売買犯を逮捕 (5/20)

コートジボワールでカカオ農園で働く子どもたちを人身売買した罪で起訴された22人が、最高20年の実刑判決を受けたと、検察当局が水曜日に発表した。

この事件は、今月、警察がカカオ農園で働いていた68人の子供たちを救出したことを受けたもので、そのほとんどが隣国のブルキナファソから輸送されてきたものだったとコートジボワール当局は発表している。

コートジボワールは世界トップのカカオ豆生産国であり、100万人近くの子どもたちがカカオ農園やその周辺の仕事で働いている慣行を取り締まるよう、欧州連合をはじめとする圧力を受けている。

今回の警察の活動は、2014年以来、カカオベルトの中心地である都市であるスーブルを対象としたものでした。児童労働に関する特別ユニットを担当する警察によると、この特別ユニットの活動さえも、活動資金不足により作業が妨げられているとのこと。

児童労働に関する国家監視委員会のメンバーであるBrahima Coulibaly氏は、この問題に取り組む努力が実を結んでいるとロイター社の取材に語りました。2012年から2020年の間に児童売買業者を起訴した600件のうち、半分は2020年に行われたとのこと。

今回の襲撃で告発された24人のうち、5人が20年の刑を受け、17人が5年の刑を受け、2人が釈放されたと、スーブル地方裁判所の検察庁が声明で発表した。

20年の刑に処せられた一人は、救出された子供の叔父と称される人物で、この子供は13歳の時に父親に連れられてブルキナファソからやってきて、叔父のカカオ農園で働いていたという。

2. カカオ価格、米国の需要見通しが改善され、2ヶ月ぶりの高値付近まで上昇 (5/18)

ニューヨーク市場のカカオ先物価格は、米国ではワクチンの普及が進んでいることに加え、新規ウイルス感染者数の減少やマスク着用義務の緩和など、長期的な需要改善の兆しが見られる中、これまで連続して下落した。

米国における新規感染者数の1週間の平均値は、昨年6月以来の低水準となり、これは、米国疾病予防管理センターが先週、ワクチンを接種した米国人が安全にマスクを脱ぐことができると発表したことによる。これは、通常の状態に戻るための最大のステップとして認識された。

このように米国が正常の生活に戻りつつある中、チョコレートの需要が回復しつつあり、CFTCのデータによると、5月11日までの1週間で、資金運用者(=ヘッジファンド等)はチョコレート豆に対して正味の強気のポジション(買いロット)を取るようになりました。CFTCのデータによると、5月11日までの1週間では、

米国の景気刺激策を背景とした最近の商品市況の上昇を受けて、投資家は豆に対してネットで強気のポジションを持ちました。



ロンドンにある RJ O'Brien Ltd. のソフトコモディティ担当副社長、David Cutler 氏は電子メールで次のように述べている。「米国経済に注入された前例のない量の金融・財政刺激策と、ロックダウン措置が緩和されたことによる需要の高まりを考えると、確かにモメンタムはより強気にシフトし始めています。

しかし、ブルームバーグ・インテリジェンス社のアナリストであるダイアナ・ゴメス氏は、「主要な欧州市場でのロックダウンの長期化などにより、2022 年までにチョコレートの販売が完全には回復しない可能性があるため、ココア先物価格は短期的には 1 トンあたり 2,500 ドルから 3,000 ドルの範囲内で推移するだろう」とレポートで述べています。また、西アフリカの好天により、2020 年から 21 年にかけてカカオの余剰が見込まれることも、来シーズンの市場の供給力を維持するのに役立つとしている。

7 月限月のニューヨーク市場のカカオ価格は 2.6% 上昇し、3 月 18 日以来の高値となる 1 トンあたり 2,539 ドルで取引されました。価格は 50 日、100 日、200 日移動平均線の上で取引されており、すべての強気のテクニカルサインとなっています。他の軟質商品では、アラビカコーヒーも上昇しました。コロンビアでは、4 月 28 日に始まった抗議デモにより、主要な出荷拠点であるブエナVENTOURA 港を中心に豆の流れが滞っているため、トレーダーは出荷の遅れを監視しています。

3. カカオの開花を制御する遺伝子特定 増殖や育種のスピードアップに期待

今月 17 日、ペンシルバニア州立大学の研究者は、カカオの開花を制御する遺伝子 (Flowering Locus T) を初めて特定した。この研究では、通常のカカオ栽培と比較して非常に早い生育段階での開花が確認され、花粉も正常に生成されていたという。



写真1. カカオの組織培養中に確認された開花

研究は、実験室内にてカカオ植物の組織を取り出し、寒天培地で生育させた個体を用いて行われた。その個体に開花を制御する遺伝子を過剰に発現させることで、フロリゲンと呼ばれるタンパク質を過剰に作らせたところ、非常に早い段階での開花が確認された。

今まで、カカオをはじめとする樹木の研究において、開花・結実までに長い時間を要することは大きな課題であった。今回の研究の共同執筆者であるマーク・ギルティナン博士は、「カカオの木は通常、開花までに3年以上の年月を要するため、新しい品種をリリースするのに20年以上の長い年月がかかることもある」と述べている。現在、世界のカカオ作物の20~30%が毎年病気で失われており、その被害は極めて深刻であるが、病気に耐性のある品種の作出までに長い時間を要するため、育種の面からそのような危機に素早く対応することは難しいとされてきた。

今回の発見は、従来の品種よりも早く実を結ぶ樹木を育てることにつながり、カカオの繁殖および育種を加速させる。高収量、耐病性、気候変動に対する回復力などの望ましい品質特性を備えた品種の育種が加速すれば、開発途上国の何百万人ものカカオ農家の生活を改善することにもつながる可能性があるという注目が集まっている。

上記の説明および写真は下記より

<https://news.psu.edu/story/657080/2021/05/17/research/discovery-flowering-gene-cacao-may-lead-accelerated-breeding>

4. ナイジェリア、4月のココア輸出量が前年同月比で365%増加 (5/18)

ナイジェリアの4月のカカオ豆輸出量は、世界的なパンデミックの初期段階であった前年同月の6,971トンと比較して、32,394トンに増加した。

ココア輸出業者サウスゲート社のマイク・オゴドー社長は電話で、「当初は輸出業者が国内の倉庫に保管していたメインクロップ豆の量が増え、出荷しやすくなったことを利用して、そのほとんどがバージ船を使って港に移されている」と語った。

ナイジェリアの商業都市ラゴスにある港の検査機関や船会社のデータによると、4月の輸出量は3月の21,748トンに比べて約50%も増加した。

4月の主な輸出先は引き続き欧州で、オランダ、ベルギー、ドイツ、ブルガリア、スペインなどへの輸出が全体の42.4%を占め、カカオ製品の輸出ではドイツに578トンのココアバターを出荷した。欧州以外の仕向地では量は少ないが米国、カナダ、マレーシア、インドネシアなどに出荷している。

5. ナイジェリア南西部地域の乾燥した天候が今後のカカオ作物への懸念を引き起こす(5/22)

ナイジェリアの主要なカカオ産地である南西部では乾燥した気候が続いており、業界ではミッドクロップと新物のメインクロップのカカオの作柄への懸念が生じていると、当局者、トレーダー、農家が金曜日に語った。

オンド州では過去3週間、雨が降らず、非常に暑い日が続いている。ナイジェリア・ココア協会の副会長であるジョシュア・オイデレ氏は、「カカオの木の花やカカオポッドが乾燥している」と懸念。彼は、カカオの開発がうまくいっていないと語り、カカオ業界全体が、心配していることを述べました。

国内最大のカカオ生産地であるオンド州のカカオ農家と直接仕事をしているオイデレ氏は、「私たちは気候変動の影響を受けています。雨が降るべき時に、暑く照りつけているのは太陽なのです」

11月から始まった乾季は、厳しく乾燥した暑い天候をもたらし、2020-21年のミッドクロップ・カカオの成長には役立たず、その結果、現在、地域の生産州では低品質のミッドクロップ・カカオが販売されていると、トレーダーのジミー・アデコラ氏は述べています。このアデコラ氏によると、5月初旬に雨季が始まり、カカオ業界は定期的な降雨を期待していたが、実際にはそうではなかったという。また、乾燥した天候が続く、現在では、木の新しい葉や花、ミッドクロップ・カカオのさやの成長を妨げているという。

また、来シーズンのメインクロップ用の花がカカオの木に「大量に」芽吹くはずなのに、カカオの木に現れたわずかな花が乾燥して木から落ちていることから、この乾燥した天候は2021-22年のメインクロップにも不安を与えていると述べました。

「花が生き残り、小さなカカオポッドに成長し、その後、9月から1月、2月にメインクロップとして収穫するための成熟したカカオポッドになるためには、降雨が必要です。花がうまく育たないと、カカオの生産が悪くなる」とアデコラ氏は続ける。

南西部の農家も降雨量の不足を訴えています。オヨ州の州都イバダン近郊のイディ・アユンレ村の農家、コラ・アインデ氏は、南西部の農家は、長引く乾燥した天候がミッドクロップやメインのカカオにダメージを与えるのではないかと心配していると言います。

「2021-22年のメインクロップの良好な発展のためには、今すぐにも十分な雨が降るべきです。このまま干ばつが続けば、メインのカカオの収穫量は少なくなるかもしれません」とアインデ氏は述べています。

下記の図で赤枠で囲んだ部分である、オグン州、オヨ州、オスン州、オンド州、エキシティ州からなる南西部カカオ地域は、ナイジェリアの年間推定カカオ生産量24万トンから25万トンの内、70%を占めます。この地域では、年初に雨が少なく、2月に初めて雨が降った後、現在はかなり乾燥した気候となっています。



6. 新商品情報：パレド オールの「蒸留所コレクション」と「獺祭梅酒ショコラ」(5/20)

～父の日ギフト好適品～日本の蒸留所の個性豊かなウイスキーとカカオの協演！

カカオ豆から本格的なチョコレート作りを手掛けるショコラティエ三枝俊介によるチョコレート専門ブランド「ショコラティエ パレド オール」では、5/28（金）より、父の日の贈り物に最適な「日本の蒸留所コレクション」、6/4（金）より、獺祭梅酒をふんだんに使用したショコラ「獺祭梅酒ショコラ」を販売いたします。

【日本の蒸留所コレクション】



葉擦れの中に響く鳥のさえずりや、清らかな水を連想させるウイスキー「白州」。日本最古のモルトウイスキー蒸留所である山崎蒸溜所から生み出される「山崎」。5大ウイスキーのモルト原酒とグレーン原酒が絶妙なバランスでブレンドされた「イチローズモルト&グレーン ワールドブレンデッド ウイスキー」など、シェフが厳選した個性豊かな日本の蒸留所のウイスキーを、カカオ豆の選別・焙煎から手掛けて製造した自家製チョコレートと組み合わせた、とても贅沢なコレクションです。ウイスキー好きな方への贈り物や、頑張った自分へのご褒美に！是非、優雅な時間と共に楽しみください。

【瀬祭梅酒ショコラ】



和歌山県産の南高梅を使い、「瀬祭 純米大吟醸二割三分」で仕込んだ旭酒造の本格梅酒を使用。瀬祭梅酒の梅を配合したパートドフリュイと、自家製ホワイトチョコレートをベースに瀬祭梅酒を贅沢に加えたガナッシュを二層に仕立て、コーティングの違いによって多彩な表情が楽しめるショコラに仕上げました。初夏の陽射しの中で、たわわに実る青梅が日本酒を醸す酒蔵によって優美な梅酒に変化していく様子が目に浮かぶような、香り豊かなショコラです。

上記情報及び、さらい詳細な情報はこちらより <https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000039.000014190.html>

7. 新ブランド情報：5月下旬本格 OPEN 佐渡島内初のクラフトチョコレート「菫 CACAO CLUB」

新潟県の佐渡島内でチョコレートを製造販売する「菫CACAO CLUB（ムシロカカオクラブ）」のオープン準備が進められている。事業を立ち上げた佐渡出身の勝田誠さん(40)は、もともと広島県尾道市で「USHIO CHOCOLATL（ウシオショコラトル）」の創設期に携わっていたこともあり、チョコレートに関する豊富なノウハウを持っている。



「苙 CACAO CLUB」では、原料となる豆の産地に直接出向き、児童労働がないことにこだわっている。また、チョコレートを作る際の原料としてカカオと砂糖のみを使う製法を大切にしており、産地によって異なるカカオ豆の風味を楽しむことのできる商品の提供を目指している。



今月2~4日には、本格オープンに先駆けてカフェスペースを開放し、商品のお披露目会も実施済みだ。訪れた人はガーナ、ベトナム、トリニダード・トバゴのカカオから作った3種のチョコレートを食べ比べたり、地元食材とカカオを使ったドリンクメニューを飲んだりしながら楽しい時間を過ごした。

チョコレートを楽しんでもらうと同時に、快適に過ごしてもらえる空間を提供していきたいと語る勝田さんのお店は、地域の活性化へ貢献することも期待されている。

*商品説明および写真は下記より

<https://www.niigata-nippo.co.jp/news/local/20210512615971.html>

<https://www.joetsu.ne.jp/144058>

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。